

授業科目名	生涯学習論
科目番号	CB25021
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	夏季休業中 集中
担当教員	上田 孝典, 石川 敬史
授業概要	生涯学習の理論・歴史・現状。現在の生涯学習に通じる考え方が、どのような時代背景から提唱され、普及していったかを、国際的動向を視野に入れて講義する。 2-6限
備考	学芸員 社会教育主事 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力 教育学に関する先導的発信力
授業の到達目標（学修成果）	学校教育とは異なる社会教育(成人教育,NFE)という領域の教育活動の特性(自己主導的学習、体験的学習、偶発的学習等)や社会教育施設の機能について理解する。 また生涯学習・社会教育の専門的基礎知識を習得する。
授業計画	集中講義で行います。（担当：非常勤講師） 日程は随時掲示で確認してください。 第1回 オリエンテーション:授業概要、テキスト、参考文献等について説明する。 第2回 生涯学習と社会教育 第3回 生涯学習の思想的展開（P.ラングラン、E.ジェルピなど） 第4回 生涯学習の思想的展開（学習権宣言、ハンブルク宣言など） 第5回 生涯学習の思想的展開（EFA、ESD、SDGs など） 第6回 日本の生涯学習政策（～1990） 第7回 日本の生涯学習政策（1990～2010） 第8回 日本の生涯学習政策（2010～現在） 第9回 地方自治体における生涯学習 第10回 中間まとめ 第11回 社会教育施設における生涯学習 第12回 図書館における生涯学習 第13回 博物館における生涯学習 第14回 成人教育の理論（変容的学習など） 第15回 成人教育の理論（正統的周辺参加論など） 第16回 成人教育の理論（学習する組織論など） 第17回 成人教育の理論（リカレント、リスキリングなど） 第18回 ICTを活用した生涯学習 第19回 諸外国の生涯学習 第20回 生涯学習の展望 生涯学習についての基本的知識を習得するとともに、生涯学習を支える社会教育の方法論、施設論、成人学習論について理解できるようにする。
履修条件	
成績評価方法	各回の小レポート（30%） 最終レポート（70%）

学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業に関する小レポートを課す。
教材・参考文献・配付資料等	必要に応じて資料を配布する。
オフィスアワー等（連絡先含む）	上田 孝典 ueda at human.tsukuba.ac.jp
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	社会教育法，社会教育施設(公民館，図書館，博物館など)，学習権など